

1 策定の趣旨

産業振興に関わるあらゆる主体の中でも「主役は事業者であること」を改めて捉えなおし、「事業者と区が一体となって推進する」ことを前提とし、産業振興の新たな指針を策定する。

2 指針の定義

- 区内産業の振興を図るための中長期的な方向性を体系的に示す。
- 社会経済情勢の変化に応じた取組みを展開する。
- 区が行う取組みだけでなく、事業者等の取組みを記載し、事業者と区が一体となって推進する。

3 指針の期間

令和7年度から概ね10年程度

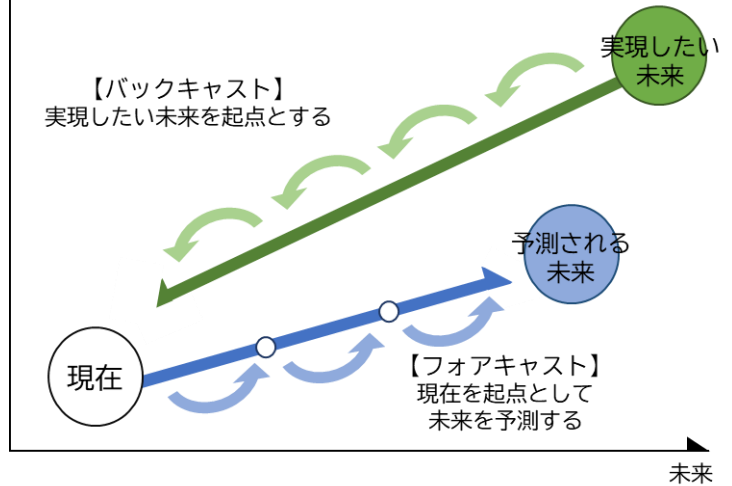
4 策定の基本的な考え方

(1) 事業者と区が一体となって推進する指針

実現したい未来や目指す方向性を共有し共感できる、わかりやすい指針とする。

(2) 環境の変化に柔軟に対応できる指針

- 「実現したい未来から逆算して今何をすべきかを導き出す（バックキャスト）」を基本として指針を策定する。
- 中長期的な産業振興の取組みの方向性を明確に示し、社会経済情勢の変化に柔軟に対応できる指針とする。



(3) 区の取組み姿勢

- ① 挑戦する事業者を応援し、経営課題を抱える事業者に寄り添い支援する
- ② 機動的・効果的な事業推進

5 指針の構成

実現したい未来を示した「Vision」
実現したい未来に向けてなすべきこと「Mission」
目的を達成するための行動「Action」で構成する。

事業者と区が一体となって推進

また、産業振興に携わる職員の姿勢「Stance」を明記する。区

今回の表現

←

前回までの表現

Vision

Mission

Action

目指す
将来像

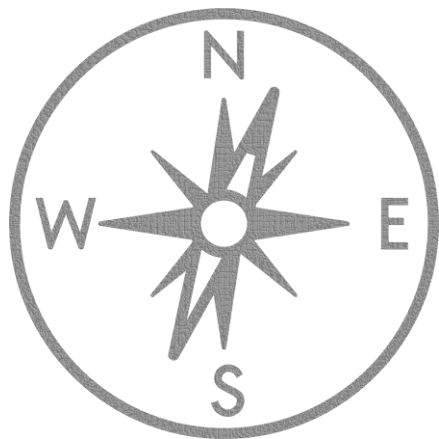
施策の
方向性

(具体的な)施策

指針名

TAITO

COMPASS



～産業振興ビジョン～

この指針は、「未来（Vision）に向かって今何をすべきかを考えて行動するもの」です。

地域経済を取り巻く環境は、常に変化しています。今求められていることは、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代であっても、その時代を捉えて、Visionに向かって、今すべきことに本気で取り組むことです。

地域経済を活性化する主役は、事業者です。

事業者と台東区が一体となって進むことで、更なる推進力を生みだします。

台東区の産業振興に関わるあらゆる主体は、この指針を「進むべき方角を示す“COMPASS（羅針盤）”」にして、Visionに向かって次の1歩を踏み出します。

Vision

らしさ いきる

ココロオドルまち

たいとうく産の“いい感じ”

“いい感じ”ってどんな感じ？

「売上が上がった（下がった）」等の一面的な見方ではなく、経営者の想い・考えを含めて、「事業転換により売上は下がったけれど、自分が本当にやりたいことができている」等の多面的な見方で「プラス」と捉える考え方です。

また、それぞれの事業者が「いい感じ」になるだけでなく、他者から「いい感じ」と思われる状態も含まれます。

そんな、それぞれが考える“いい感じ”の状態を指します。

台東区は、上野や浅草、谷中などの各地域が特色を持つとともに、確かな技術に裏打ちされた地場産業や伝統工芸など、多種多様な産業が集積しています。

さらには、事業者の多彩な個性が、活気とにぎわいを呼び、まちの魅力となり、台東区「らしさ」を形作っています。

この「らしさ」は世界に誇るものであり、多彩な「らしさ」に人々は惹きつけられています。

ここは、事業者の本気の想いが、集まり、つながり、にぎわい、事業者も訪れる人も心が動きワクワクするまち！

そんなまちから、それぞれの事業者の“いい感じ”がうまれ、ひろがり、たくさんの“いい感じ”にあふれ、台東区が盛り上がっています。

【解説】「事業者と区が一体となって進む」指針とするため、事業者にとってわかりやすく、親しみやすいフレーズとするため、全体的に、硬い表現を使わずに平仮名やカタカナを使用しました。

台東区の多彩な魅力を“らしさ”という言葉で表現し、その“らしさ”を活かし、次代に繋いでいる（生きている）様子として「らしさ “いきる”」としました。

「らしさがいきる」台東区で、本気で取り組む、挑戦する事業者が、集まり・つながり・にぎわうことで、事業者も訪れる人も惹きつける台東区となっていることを「ココロオドルまち」と表現しました。

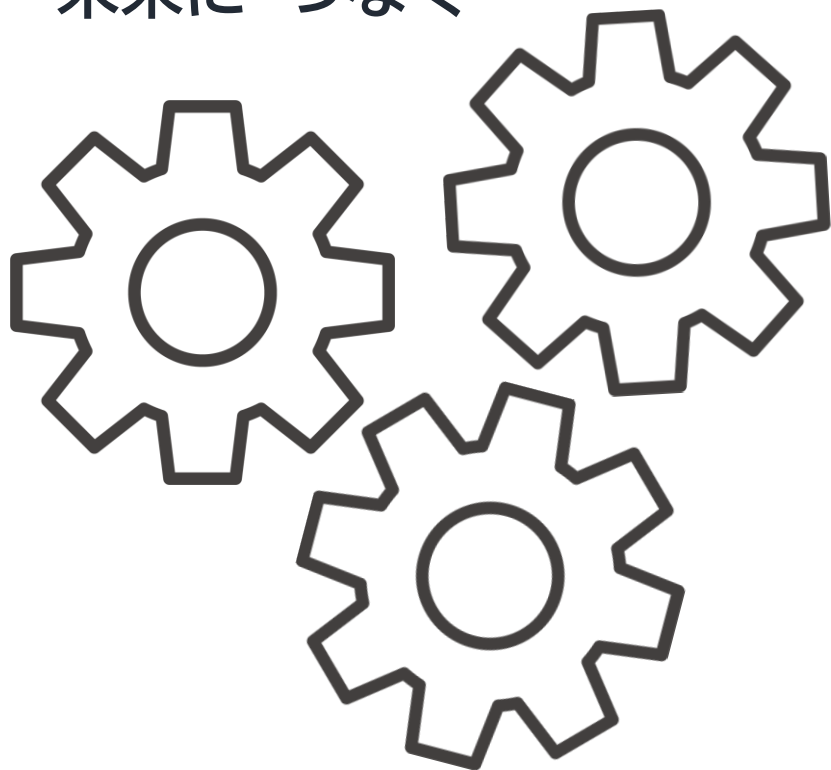
「ココロオドルまち（台東区）」で、多面的な見方でプラスと捉える“いい感じ”という表現を使い、それぞれの事業者が考える“いい感じ”や訪れる人等が思う“いい感じ”がうまれ、made in TAITOの“いい感じ”であふれている状態を表現しました。

Mission

I らしさ みがく

II おもい ひろげる

III 未来に つなぐ



I らしさ みがく

まちの成り立ちを知り、特色や強みを理解し、地域にあるさまざまな魅力に気づき、活かすことで、「らしさ」は更なる強みとなります。多彩な「らしさ」をみがくことで、輝き続けます。

II おもい ひろげる

事業者の挑戦、志、悩み、葛藤などの想いを行動に変え、成長につなげます。また、本気の想いが重なり広がることでシナジーが生まれ、にぎわいにつながります。

III 未来に つなぐ

環境の急激な変化にも適応し、強い経営基盤をつくり、事業者の想いや技術を次代につないで、「輝くらしさ」「広がるおもい」を未来につなぎます。

体系図

TAITO COMPASS ～産業振興ビジョン～

Vision	らしさ いきる ココロオドルまち たいとうく産の“いい感じ”		
Mission	I らしさ みがく (まちの価値と魅力を高める)	II おもい ひろげる (想いを形にする)	III 未来につなぐ (時流を捉え変化に適応する)
Action	①誰もが知る「ものづくりのまち」へ ②伝統工芸を次代につなぐ ③地域とともに成長する商店街に ④地域資源を活かす	①経営を強くする ②起業・創業への挑戦 ③同志とつながる	①時代の変化に適応する ②事業者の想いや技術をつなぐ ③担い手の育成

事業者と区が一体となって推進



Stance	1 どんどん動く	2 ニーズをつなぐ	3 少しだけおせっかい
---------------	----------	-----------	-------------

産業振興に携わる職員の姿勢

Stance (取組み姿勢)

事業者から

「頼られる存在」へ

1 どんどん動く

2 ニーズをつなぐ

3 少しだけおせっかい

産業振興に携わる職員は「台東区を盛り上げたい！」という想いのもと、挑戦する事業者を応援し、経営課題を抱える事業者に寄り添い支援します。

そのために、3つの姿勢で事業に取り組み、地域の「かかりつけ医」のように、気軽に相談でき、顔が見える関係の「頼られる存在」を目指します。

1 どんどん動く

目的を理解した上で、現場を見て、声を聞き、何を求められているか、何が最善であるかを考え、実行し、効果的な手段への切り替えも果敢に行います。

2 ニーズをつなぐ

事業者のニーズを把握し、事業者・地域・支援機関等、それぞれをつなぐパイプ役を担います。

3 少しだけおせっかい

本気の事業者の想いを受け止め、もう一步踏み込んで動き、これからの挑戦に寄り添い、応援します。